

### 第3回妖精資料活用検討懇談会議事要旨

日時：平成16年2月16日(月) 午後2時30分～

会場：宇都宮市中央生涯学習センター 301 学習室

出席委員：小林会長，木村会長，柏村委員，橋本委員，星野委員，小川委員，小関委員  
松江委員，鈴木委員，福田委員

事務局：伊藤教育次長，渡辺主幹，北條課長，石井補佐，森田係長，梁木係長  
荒井総括主査，石和主任主事

#### 1 開 会 (石井補佐)

#### 2 会長あいさつ (小林会長)

- ・ 本日は，提案書(素案)についてご意見をいただき，次回の会議で完成させたい。
- 井村氏からいただいた手紙の内容を紹介 -
  - ・ 寄贈資料は，世界における妖精学の基礎になることを望んでいる。
  - ・ 生まれ育った宇都宮で活用してもらいたいので市に寄贈した。
  - ・ 妖精は，子どもから大人まで広く一般に活用できるテーマで。
- ・ 宇都宮が妖精学の先駆者になるという意味で意義があると思う。

#### 3 議 事

##### (1) 第2回懇談会議事要旨(案)について

###### 【事務局】

- ・ 前回，質問のあった寄贈資料の評価について補足説明をしたい。
- ・ 昨年，妖精資料の受入れについて宇大の小林教授(比較文化論)などに意見を求めたところ，「妖精の画集や絵本は一般利用が可能であり，オスカーワイルドの資料は大変貴重なものである。また，井村氏は妖精研究において大変有名な方であり，市で活用し，情報発信すれば，全国から研究者が宇都宮にやって来る。」との評価をいただいたところである。市では専門家のこのような意見を参考に美術・書籍資料とも貴重な資料であり，妖精というテーマでも多方面での活用が可能と判断した。

###### 【柏村委員】

- ・ 寄贈資料の評価については，具体的個別にどの程度貴重なのか不明だが，基本的には了承する。

###### 【木村副会長】

- ・ 前回，「宇都宮市に妖怪を寄附した人がいる」との話をしたが，妖精資料を寄贈した井村氏の話だったことが判明した。

(2) 妖精資料の閲覧について

- 宇都宮市中央生涯学習センター 301 学習室にて資料の閲覧 -

【小林会長】

- ・貴重本は，他と分けて保全対策を講じること。
- ・貴重本を選別する場合は，出版年で一律に分けるのではなく，1冊ずつ専門家に見てもらった方が良い。

(3) 妖精資料活用検討に関する提言書（素案）について

(4) 意見交換

- (3)(4)は，内容が重複するので一括審議とした -

【星野委員】

- ・提言書（素案）1ページの4行目に「音楽」を追加してほしい。  
「演劇」と「バレエ」の間に「音楽」を追加し，「・・・児童文学や絵本，映画，アニメ，演劇，バレエなど・・・」に訂正する。

【小林会長】

- ・3ページ1行目「妖精・ケルト・・・夢の世界であり」は，誤解を生じるので「妖精は夢の世界であり」に訂正したらどうか。
- ・同節の「・・・市民が妖精・ケルトなどを身近に親しむ・・・」については，「ケルト」を除いた方がわかりやすい。  
そのように訂正する。

【小川委員】

- ・アイルランドの本では，「妖精」は生活に根付いたものであり，地元の人たちは夢の世界だと思っていないので3ページ1行目「妖精は夢の世界であり」は省いた方が良い。  
そのように訂正する。

【柏村委員】

- ・1ページの「はじめに」に「妖精」の定義を入れた方が良い。

【小林会長】

- ・9ページに「妖精」の定義があるので「はじめに」の4行目に適切な表現を事務局の方で追加しておいてほしい。  
適切な表現を検討し追加したい。

【橋本委員】

- ・子供たちにもう少し「道草」をしてほしい。そんな表現が何処かに入らないか。

### 【小林会長】

・ 3ページの「2 活用のコンセプトと視点」の1行目「妖精は、子どもたちの豊かな情操や・・・心の育成に寄与するもの・・・」にうまく表現できないか。

### 【小川委員】

・ 提言書の「妖精」は、綺麗なものばかりを連想してしまうが、そうでない妖精もいる。対象は綺麗な「妖精」だけなのか。

こわい妖精や妖怪の話には、道徳的なメッセージが込められているものが多い。活用コンセプトにある子どもたちの「やさしさ」を育むためにそのような妖精たちを紹介していきたい。

### 【小川委員】

・ 読書活動に道徳教育を持ち込むのは危険性が高い。読書を嫌いになる子もいる。

### 【小林会長】

・ そうなると「美しさ」も問題になる。「妖精」は、色々なメッセージを持っている。「やさしさ」、「美しさ」、「元気さ」の3つだけに限定して良いのか。「実現する」という言葉では無く「考える」という表現に変えたらどうか。

### 【福田委員】

・ 活用コンセプトは、3つに限定せず、生活者の視点から「考える機会」を創出するという風に留めておいたらどうか。

「やさしさ」を育むには「きびしさ」も必要である。活用コンセプトは、施策の展開から導き出した行政目的をキーワードにしたものである。

### 【小林会長】

・ この段階で活用コンセプトをまとめる必要があるのか。

基本計画を策定するには、施策の目的を明確にする必要がある。話を戻してしまうが「千と千尋の神隠し」に出てくる「オクサレサマ」は、醜い精霊であるが主人公の千が湯で洗ってあげてキレイになる。心理学の教授山中康裕氏は、この物語には、子たちの心に訴える効果があると言っている。

・ 「やさしさ」「美しさ」「元気さ」は省き、単に「教育・生涯学習面での利活用」、「文化芸術面での利活用」、「まちづくり面での利活用」で良いのではないか。

活用コンセプトについては、委員の皆様の意見を参考に適切な表現を検討したい。

### 【小林会長】

・ まちかど広場で子どもたちが外から見えるように半透明の天幕を張り、妖精の仮設パビリオンを建ててPRしたらどうか。

### 【柏村委員】

- ・ 1ページの「はじめに」に「何故、今、妖精が親しまれるのか」の記述が必要であり、また、「足元の文化を見直すため」という表現を追加してほしい。
- ・ 「大半が女性」という表現は省いたらどうか。  
そのように追加・訂正する。

#### 【小川委員】

- ・ 4ページの活用分野と可能性に「読書活動の推進」があるが、確実に実施することになるのか。市の司書が臨時職員に転換される中で、読み聞かせを実施していくことは大変困難である。

#### 【小林会長】

- ・ 提言書から「読書活動の推進」を省いた方が良いとのことか。

#### 【小川委員】

- ・ 出来ればそうしてもらいたい。

#### 【松江委員】

- ・ 子どもたちの活字離れは親として深刻であり、出来れば正規の司書を雇って読書活動を推進してもらいたい。

#### 【小関委員】

- ・ 多くの市民のために活用していくには、色々なメニューがあった方が良い。

#### 【鈴木委員】

- ・ 資料を閲覧した時、子どもと一緒に読みたい本が何冊かあった。妖精は親子で楽しめるものだと思う。

#### 【小川委員】

- ・ 読み聞かせはTPOに合わせて読む本を選択する。寄贈書籍では難しい。

#### 【福田委員】

- ・ 参加する側の視点としては、読書活動の推進は必要である。

#### 【柏村委員】

- ・ 4ページの「民間伝承の普及・啓発」は、どのような意味で記載したのか。  
宇都宮の民話の中には、「百目鬼」の話など一般に知られていない。これをきっかけに民話を普及していきたいとの趣旨である。
- ・ そのような意味なら「民間伝承の普及・啓発」ではなく、「民話の普及・啓発」が良い。  
そのように訂正する。

**【橋本委員】**

- ・ 4ページの「民間伝承・文学等の分野を・・・」の「文学」を「口承文学」と訂正した方が良い。  
そのように訂正する。

**【小林会長】**

- ・ 委員の皆様の見解をもとに事務局で提案書を訂正し、早急に送付していただき必要があれば委員の皆様から再度訂正等について事務局に連絡するような形でお願いします。

**(5) 次回懇談会の日程について**

- ・ 次回会議 平成16年3月12日 PM3:00～

**(6) そ の 他**

- ・ 特に無し

**4 閉 会（石井補佐）**